

# 神宿る島

宗像・沖ノ島と関連遺産群

平成29年7月、「神宿る島」  
宗像・沖ノ島と関連遺産群が  
ユネスコ世界遺産委員会において  
世界遺産に登録されました。

おきのだいしやおきつみや  
宗像大社沖津宮（沖ノ島）  
おきのしま  
小屋島・御門柱・天狗岩



古くから厳格な掟がある神聖な島。  
島全体が御神体とされ、  
島の中腹に沖津宮社殿があります。

## 沖ノ島

太古からの信仰が受け継がれる  
歴史的な価値に世界が注目

玄界灘に浮かぶ周囲約4キロの孤島は、宗像三女神の長女神である田心姫神（たごりひめのかみ）を祀る沖津宮が鎮座しています。この島で出土した約8万点にも及ぶ神宝は全て国宝に指定され、「海の正倉院」ともいわれています。一般の上陸は禁止されており、神職が10日交代でたった一人で奉仕するなど、さまざまな掟を今に守っています。  
※渡島できません

おきのだいしやおきつみやよはいしよ  
宗像大社沖津宮遙拝所

おきのだいしやなかつみや  
宗像大社中津宮

沖ノ島にもっとも近い「沖津宮遙拝所」。「寛延三年（1750年）」と刻まれた石碑があり、18世紀中頃にはここに遙拝所があったことを示しています。



学撮

## 宗像大社 沖津宮遙拝所・中津宮

神話の時代より国家鎮護を祈る沖ノ島に最も近づける場所  
島の北側には「沖津宮遙拝所」があり、渡島できない沖ノ島に対し、ここから拝むことができます。また「中津宮」は宗像三女神の次女神である湍津姫神（たぎつひめのかみ）が祀られており、海を隔てた九州本土の辺津宮と向かい合って鎮座しています。

住所：宗像市大島1811（中津宮）・1293（遙拝所）  
☎0940-72-2007

おきのだいしやへつみや  
宗像大社辺津宮

16世紀末に再建され、  
国の重要文化財に指定  
されています。



しんげん ぬやまごかんてん  
新原・奴山古墳群



学買遊

## 海の道むなかた館

辺津宮の正面にある海の道むなかた館。沖ノ島の3D映像や解説パネル等で、世界遺産について学習してから、それぞれの構成資産に足を運ぶのがお勧めです。

住所：宗像市深田588  
☎0940-62-2600  
〔営〕9時～18時  
〔休〕月曜日（祝日の場合は翌平日）  
12月29日～12月31日

学撮

## 宗像大社 辺津宮・高宮祭場

宗像三女神が君臨したと伝わる聖地  
多くの人が崇敬する三宮の総社

「辺津宮」は、宗像三女神の末女神である市杵島姫神（いちしまひめのかみ）が祀られています。また社殿を抜けると宗像三女神の降臨地とされる、全国でも数少ない古代祭場である「高宮祭場」があり、今も神事が行われています。

住所：宗像市田島2331  
☎0940-62-1311



## 祀られているのは三姉妹の神様

素戔尊\*1の謀反を疑った天照大神\*2の誤解を解くため、素戔尊が自分の心が清明である証として行った誓約\*3で生まれた神様です。素戔尊の持つ十拳の剣\*4を天照大神が三つに折り噛み砕いて吹き出して生まれた三柱の女神で、沖津宮に田心姫神\*5、中津宮に湍津姫神\*6、そして辺津宮に市杵島姫神\*7がお祀りされています。

\*1:すさのおのみこと \*2:あまてらすおおみかみ \*3:うけい  
\*4:とつかのつるぎ \*5:たごりひめのかみ  
\*6:たぎつひめのかみ \*7:いちしまひめのかみ



学

## 神宝館

一通りお詣りを済ませたら、神宝館へ。ここには出光佐三翁の支援で発掘調査された沖ノ島の出土品が収蔵・展示されています。8万点もの出土品はすべて国宝に指定されています。

宗像大社辺津宮境内  
〔営〕9時～16時30分（最終入館16時）  
〔休〕なし  
拝観料：大人800円、  
高・大学生500円、  
小・中学生400円  
※幼児は無料  
※20人以上は1人につき200円引き

